

# 合掌会主催 敬老会



歌あり 舞あり、盆踊りあり、始まり、楽しい合掌会主催の敬老会が、今年も盛会に開催されました。皆さん来年も、お元気で、お待ちしております!!



\*合掌会では、十一月二十三日にはバザーを開催いたします。隔年での開催ですが出品物のご提供をお願いすることとなります。手作り品、ご家庭でご不要なものなどございましたら、ご協力頂きますようお願いいたします。



9月20日、合掌会（廣石美枝子会長）主催の敬老会が開催されました。今年は95名が出席され、祝吟・歌・舞踊・杵築音頭・ダンス・腹話術と、たくさんのお出し物で賑やかに楽しい時間を過ごしました。最後には予定されていなかった盆踊りも始まり、会は一段の盛り上がりを見せ、例年以上の素晴らしい敬老会となりました。余興の段取りをしてくださりました川上シゲ子さんはじめ、会員の皆様、出席者の皆様ありがとうございました。

## 「禅—いまを生きる—」

白隠禅師二百五十年

遠諱にあたり④

雲門和尚に一人の僧が「仏とは何ですか」と問うた。すると雲門和尚は

「乾屎橛(かんしけつ)」と答えた。

この問答は『無門関』第二十一則にある問答である。

「乾屎橛(かんしけつ)」とは、乾いた糞、或は用を足したあとに、それを始末すれ竹のヘラともいわれている。どちらにしても「仏」を「乾屎橛」に例えるとは思ってもよらぬ問答であります。

この問答は、つい最近の坐禅会でお話しさせていただきましたが、禅の古則は捉えにくく、難解なものが多い。その古則を課題として、坐禅工夫するのが公案であるが、その公案を現在のように体系化し確立したのが、白隠禅師である。

白隠禅師が確立された公案体系は次の八段階から構成されます。

「法身・ほっしん」

「機関・きかん」

「言詮・ごんせん」

「難透・なんとう」

「向上・こうじょう」

「洞上五位・どうじょうごい」

「十重禁戒・じゅうじゅうきんかい」

「最後の牢関・ろうかん」

それぞれの段階はどのような意味合いがあるか、簡単にとらえてみたい。

〈法身〉

最初の段階である「法身」は「初関」とも表現されます。簡単に言うと、二元的分別をなくして、直観的な仏心を得ることが目標です。この段階をクリアするのに、数年はかかるといわれ、最も大切な段階である。「無常」、「空」を直接認識する「見道」に入った段階でしょう。

〈機関〉

「法身」「無」の認識を日常生活の中で働かせる「悟後」の修行の段階。坐禅で悟りを得たとしても、立ち上がったとたん、それを忘れては意味がありません。日常の中で、その働きを示すことが必要です。

〈言詮〉

「法身」の悟りは言葉を越えていて表現できないものですが、それを言葉で自由自在に表現できるようにするのが「言詮」の段階です。説法のために必要です。お釈迦様が対機説法をされたように、利他的な目的、菩薩道のための修行となります。

〈難透〉

「難透」は、到達し難い境涯と表現される段階です。この段階は、「向

上」と不可分なのではないかと思えます。

〈向上〉

「悟臭・禅臭を抜く」とも表現されますが、悟りや仏に捕らわれないようにする段階です。

〈洞上五位〉

公案を階梯的に整理して自由に使えるようにする修行です。

〈十重禁戒〉

戒律を禅の観点から研究する修行です。

〈最後の牢関〉

修行者に宗旨の最後を尽くさせるという意味のものです。

「最後の牢関」のさらに後に、「最後の一訣」を置く場合もあります。

臨済宗の和尚さんは、少なからずこの公案問答の修業を積み、さらに坐禅・托鉢・作務などの実践的修業を積み、一人前の禅僧となるべく精進するわけです。

禅は仏心宗と言われます。お釈迦様にはじまり、達磨大師、臨済禅師、日本臨済禅中興の祖・白隠禅師と多くの祖師から今日にいたるまで、「一器の水を一器へ」移すがごとく受け継がれています。

まさに、禅は今を生きています。その生きる禅の僅かな力になればと、私も努めていければ、白隠禅師の報恩となることでしょう。

## 「日々是好日」

●夏休み前に右腕を骨折した三男も、九月の初めに無事にギブスが外れ、元気に過ごしております。ご心配頂いた皆さんありがとうございます。

●八月三日当山施食会法要も無事に終えることができました。前日、当日と暑い中お手伝い頂いた皆様に心から感謝いたします。●夏の棚経も無事に終えることができました。長男のまわる件数も増え、少しばかり負担も減ってきております。次男三男も数年後宜しくお願い致します。

●八月十四日下司地区の供養盆踊りのご回向を致しました。天候が心配でしたが区長様の人徳か、盛会の裡に終えたそうです。●八月二十二日、長男が描いた絵が表彰されるということで、大分県立美術館に開館後初めて伺いました。また受賞に際し、お心遣い頂きました皆様ありがとうございます。●九月三日合掌会役員会が行われ敬老会・バザーの予定が話し合われました。敬老会も楽しく開催されました。ご参加ご協力ありがとうございます。●境内堀、墓地手洗い場の工事も着々と進んでおります。今しばらくご迷惑をお掛け致しますがよろしく願いいたします。●今号は敬老会特集の掲載が遅くなりました。みんなで読もう

「安住寺だより」

住職合掌